

令和5年度盛岡市都市景観賞の決定について

1 目的と趣旨

都市景観形成の推進と市民意識の高揚を目的として、自然及び歴史的環境に調和した、潤いのある都市景観の形成に寄与する建築物等の施主等を表彰する盛岡市都市景観賞を昭和59年度から毎年度実施しており、今回で40回目となる。

2 決定までの経緯

- (1) 募集期間 令和4年8月1日～令和5年7月31日
- (2) 応募総数 16件
- (3) 選考について

盛岡市景観形成推進委員会において現地調査等を行い、決定した。

3 令和5年度盛岡市都市景観賞の名称及び所在地

- (1) 紺屋町の町舎（まちや）（株式会社 三衡設計舎社屋）（紺屋町）
- (2) 株式会社 タカヤ 盛岡みなみ支店（向中野）

4 表彰式について

表彰は、令和6年1月27日（土）に盛岡劇場で開催する第46回盛岡市都市景観シンポジウムにおいて行うこととしている。

◆◆◆第46回盛岡市都市景観シンポジウムにおける講演等について◆◆◆

- 1 名称 第46回盛岡市都市景観シンポジウム
- 2 日時 令和6年1月27日（土）13時30分～16時30分
- 3 場所 盛岡劇場 メインホール（松尾町3-1）
- 4 テーマ 「変わりゆく盛岡～紺屋町界限・肴町界限～」
- 5 内容
13:40 ①令和5年度盛岡市都市景観賞表彰式
14:00 ②基調講演（60分）
演題「変わる？変わらぬ？わが町バンザイ！」
講師 江幡 平三郎 様
15:10 ③パネルディスカッション（約80分）
テーマ 変わりゆく盛岡～紺屋町界限・肴町界限～
出演者 ・コーディネーター
沼倉 早紀（フリーアナウンサー）
・パネリスト4名
刈茅 修二 様（(株)アールアイエーmonaka設計者）
白澤 紅緒 様（老舗白沢せんべい店看板娘）
立花 美和 様（岩手県立大学盛岡短期大学部学生）
江幡 平三郎 様

【問合せ先】

都市整備部 景観政策課
担当 佐藤 潤、遠藤 優
TEL 019-601-5541

(資料) 令和5年度盛岡市都市景観賞

名称	「紺屋町の町舎 (まちや)」(株式会社 三衡設計舎社屋)
所在地	紺屋町
完成年	令和5年
建築主	株式会社 三衡設計舎 代表取締役社長 勝部 敬次
設計者	株式会社 三衡設計舎
施工者	伊藤建設 株式会社
評価等	<p>江戸時代に奥州街道として栄えた紺屋町界隈。旧町名では紺屋町、鍛冶町、紙町など風情あふれる商人の盛岡のメインストリートです。現在も観光客や修学旅行生で賑わう歴史ある通りに、盛岡町家を彷彿させる建物ことができました。</p> <p>正面に縦格子の門を配し、黒を基調とした木造2階建ての事務所は、屋根をガルバリウム鋼板(一部瓦)、外壁を金属サイディング縦張りの現代の材料を使用しています。屋根を盛岡町家の特徴である平入りの勾配屋根とし、雨樋も含めた建物全体の色は盛岡町家の色彩としてふさわしい落ち着いた色で統一されています。</p> <p>門前にアクセントとなる植栽を植え、建物側面の設備機器には縦格子の門による遮蔽措置を施し、近隣のかつて都市景観賞を受賞した番屋や森八商店といった、新しくも趣ある街並みへの配慮がうかがえます。町家以外の景観にも参考になると感じられるとともに、新しい盛岡町家復活のきっかけになることを願います。</p>



名称	株式会社タカヤ 盛岡みなみ支店
所在地	向中野
完成年	令和4年
建築主	有限会社 橋市倉庫 代表取締役社長 谷藤 大樹
設計者	株式会社 タカヤ 一級建築士事務所
施工者	株式会社 タカヤ
評価等	<p>これから伸びゆく盛岡の新しいエリアである道明地区の向中野地域内、その中心の交差点に面した鉄骨造2階建の事務所の建物です。</p> <p>周囲には同系色で建てられたショッピングエリアがあり、新しい住宅地として注目されています。十字路に対し建物は奥に配置され、しゃれた庭と植栽が印象的です。前面空間が確保されることで訪れた人にこころのゆとりも感じさせます。事務所の長い庇が来訪者を優しく迎える様です。外壁の窯業系サイディングは木目調の茶色系、金属系サイディングは黒色系、そして大きなガラス窓で構成されており、ファサードのはね出す幕板が建物の表情を締めています。</p> <p>南北の幹線道路側に向け機器類が露出しないよう目隠しルーバーで、遮蔽修景が施されています。夜の明かりはまだ多くはありませんが、明かりが美しく、景観とマッチする様相です。これから発展していくこの新しい街並みづくりの手本となつてほしい、との期待を込めての受賞となりました。</p>

